

永田廣志 （昭三） 哲學者。明治三十七年四月一日長野縣東筑摩郡山形村生れ、昭和二十一年九月七日歿（一九四一四七）。筆名若島慎一、山邊元太。縣立松本中學校を経て、東京外國語學校ロシア語部文科（法律専攻）卒。昭和五年プロレタリア科學研究所に入り、ソヴェート科學研究會の所屬。その後、唯物辯證法研究會、日本戰國的無神論者同盟、プロレタリア科學同盟哲學委員會、唯物論研究會等で活動。十二年の唯研事件で檢擧せられ、肺結核で下獄延期を申し立ててゐるうちに終戦。二十一年民主主義科學者協會創設者の一人。

ヴァインシエテイン著「レーニン主義辯證法」（昭和五年十二月）、「五白白揚社」コマルクス主義の旗の下に「文庫」等多くのソ聯マルクス主義哲學を翻譯紹介した他、『現代唯物論』（昭和十年十月）、「三笠書房」「唯物論全書」（昭和十二年八月一日）、「日本封建制イデオロギー」（昭和十二年四月）、「五白白揚社」、『自由主義・民主主義 社會主義・共産主義』（昭和二十一年五月十日伊藤書店「人民叢書」）、「人間の史的唯物論」（昭和二十三年一月十五日古明地書房）、「現代觀念論批判」（他七名合著・松村一人編、昭和二十二年一月）、「五白チウカ社」等々著すのみ。

